



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング  
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,283	11.3	379	59.6	528	51.8	320	55.0
29年3月期第1四半期	5,955	6.1	940	24.5	1,095	24.3	711	23.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 307百万円 (58.6%) 29年3月期第1四半期 194百万円 (66.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.17	
29年3月期第1四半期	42.59	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	59,945	50,918	84.9	3,048.99
29年3月期	60,623	51,195	84.4	3,065.55

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 50,918百万円 29年3月期 51,195百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		35.00		35.00	70.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,800	17.6	1,900	2.2	2,100	0.9	1,400	1.3	83.83
通期	28,700	14.5	5,000	15.9	5,300	12.9	3,500	3.3	209.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	22,720,000 株	29年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	6,019,857 株	29年3月期	6,019,812 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	16,700,167 株	29年3月期1Q	16,700,987 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ緩やかな回復基調が続いているものの、新興国経済の減速や欧米の政治動向への懸念等、世界経済の不確実性の高まりから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、昨年12月末を期限とした「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去後も、パチンコホールの投資意欲は低迷したまま推移しました。また、「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（IR推進法）」が国会で成立し、公布、施行されたことを受け、パチンコ業界でものめり込み防止対策が検討されるなど、先行き不透明な状況が続いていることから、周辺設備への投資、新規出店や改装計画を先送りする傾向が見受けられました。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品を販売するとともに、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努め、他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高52億83百万円（前年同四半期比11.3%減）、営業利益3億79百万円（同59.6%減）、経常利益5億28百万円（同51.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億20百万円（同55.0%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

#### [アミューズメント関連事業]

パチンコホールを取り巻く環境は大きく変化し、先行き不透明感が強まっていることから厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、少人数で効率的なホール経営を実現する「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」の拡販に努め、潜在的なニーズの掘り起こしを行ってまいりましたが、新規や改装の案件が少なく販売活動は厳しい状況となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は23店舗、当第1四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,603店舗（市場シェア18.3%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は23店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,994店舗（市場シェア22.8%）となりました。

空気の流れで紙幣を搬送するAir紙幣搬送システムは順調に導入件数を伸ばし、累計で700店舗を越えました。特にハイスペックモデルの立体Air紙幣搬送システムは、特に技術面での優位性が高く、新規顧客の獲得や早期商談に繋がりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、33億60百万円（前年同四半期比21.2%減）、セグメント利益は6億31百万円（同31.7%減）となりました。

なお、7月より全国主要都市4カ所で「2017マース新製品発表展示会」を開催し、新製品を発表しました。これまでの業界の常識を覆す新しいパーソナル「マースユニコン」を始め、きめ細かい接客サービスをサポートする「ウェアラブル端末」、受動喫煙防止対策に有効な「SMOKE POINT」等を発表・展示し、来場者から非常に高い関心が寄せられました。新製品が業界標準となるべく今後の販売活動に注力してまいります。

#### [自動認識システム関連事業]

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等、各種データを自動的に読み込み、内容精査、認識するシステムであり、当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、広い分野で積極的に販売活動を展開しております。

長く低迷していた国内製造業の設備投資は、業界ごとに緩やかな回復基調にあり、従来販売先からの更新需要に加え、新規顧客を獲得するため、新製品開発と新規開拓活動に積極的に努め、FA市場を始め、流通市場、アミューズメント市場、健診市場等、新たな新規市場の開拓を進めてまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は15億60百万円（前年同四半期比17.9%増）、セグメント利益は94百万円（同16.2%増）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、平成28年に日本を訪れた外国人が推計2,400万人(日本政府観光局の発表)で過去最高を更新し、観光需要は好調に推移しました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に程近い立地と質の高いサービスが評価され、地域の中でも高い稼働率を維持することができました。開業20周年を迎えるにあたり、総工費5億11百万円をかけて全館リニューアル工事(2月20日から5月31日まで)を実施いたしました。工事期間中、販売客室数が減少したことや改装及び客室備品等の購入に2億72百万円要したことから、売上高及びセグメント利益は前年同期と比べて減少しましたが、6月1日にリニューアルオープンし、今後は更なる稼働率の向上が見込まれます。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、水と光のファンタジー(幻想的な噴水ショー)や宿泊者向けのお菓子教室等のイベントを定期的で開催し、新規顧客とリピーターの獲得に努めました。関連事業の「海鮮処博多松月亭(ホテルサンルート博多内)」及び「鉄板焼銀明翠GINZA(東京銀座)」は認知度も高まり、順調に利用者数が増加しました。また、インターネットによる関連商品の販売が好調に推移しました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は3億62百万円(前年同四半期比1.5%減)、セグメント損失は3億48百万円(前年同四半期は67百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は599億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億77百万円減少いたしました。

流動資産は388億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億円減少いたしました。その減少の主な内訳は、現金及び預金が16億89百万円減少し237億55百万円となりました。

固定資産は211億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億23百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、建物及び構築物(純額)が1億55百万円増加し69億61百万円となりました。

流動負債は55億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億10百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が10億12百万円減少し1億11百万円となりました。

固定負債は34億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して9百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、役員退職慰労引当金が7百万円増加し7億23百万円となりました。

純資産は509億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億76百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、利益剰余金が2億64百万円減少し465億81百万円となりました。

自己資本比率は84.9%となり、前連結会計年度末と比較して0.5ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は237億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億89百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は10億6百万円の支出(前年同四半期は18億88百万円の収入)となりました。主な要因は、営業貸付金の増加額13億4百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億34百万円の支出(前年同四半期は8億40百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億31百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億49百万円の支出(前年同四半期は4億80百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億49百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,444,664	23,755,337
受取手形及び売掛金	5,478,483	4,201,304
リース債権及びリース投資資産	1,386,182	1,359,863
有価証券	349,965	349,965
商品及び製品	1,923,992	2,301,962
仕掛品	432,434	438,787
原材料及び貯蔵品	957,851	1,014,839
その他	3,836,949	5,388,650
貸倒引当金	△3,997	△4,925
流動資産合計	39,806,526	38,805,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,806,378	6,961,773
土地	6,078,964	6,082,364
その他(純額)	412,783	600,856
有形固定資産合計	13,298,126	13,644,995
無形固定資産	149,288	146,648
投資その他の資産		
投資有価証券	6,114,086	6,084,260
その他	1,441,146	1,388,271
貸倒引当金	△185,631	△124,028
投資その他の資産合計	7,369,600	7,348,502
固定資産合計	20,817,015	21,140,146
資産合計	60,623,541	59,945,931
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,502,426	2,245,283
リース債務	880,298	831,949
未払法人税等	1,124,497	111,893
賞与引当金	440,172	226,904
その他	1,014,971	2,135,499
流動負債合計	5,962,367	5,551,529
固定負債		
リース債務	988,191	992,188
役員退職慰労引当金	715,585	723,535
退職給付に係る負債	551,303	556,493
資産除去債務	29,222	29,363
その他	1,181,628	1,174,228
固定負債合計	3,465,931	3,475,810
負債合計	9,428,299	9,027,340

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	46,846,078	46,581,786
自己株式	△12,314,885	△12,314,994
株主資本合計	50,837,123	50,572,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665,600	639,961
繰延ヘッジ損益	△4,716	—
退職給付に係る調整累計額	△302,764	△294,093
その他の包括利益累計額合計	358,119	345,868
純資産合計	51,195,242	50,918,590
負債純資産合計	60,623,541	59,945,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,955,199	5,283,498
売上原価	2,922,248	2,813,672
売上総利益	3,032,950	2,469,825
販売費及び一般管理費	2,092,700	2,090,228
営業利益	940,249	379,597
営業外収益		
受取配当金	163,495	136,942
その他	11,875	11,713
営業外収益合計	175,370	148,656
営業外費用		
為替差損	19,653	—
自己株式取得費用	52	—
営業外費用合計	19,706	—
経常利益	1,095,914	528,254
税金等調整前四半期純利益	1,095,914	528,254
法人税、住民税及び事業税	239,603	82,790
法人税等調整額	144,938	125,250
法人税等合計	384,542	208,040
四半期純利益	711,371	320,213
親会社株主に帰属する四半期純利益	711,371	320,213



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	711,371	320,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△484,524	△25,638
繰延ヘッジ損益	△41,493	4,716
退職給付に係る調整額	8,789	8,671
その他の包括利益合計	△517,228	△12,251
四半期包括利益	194,143	307,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,143	307,962

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,095,914	528,254
減価償却費	140,833	146,543
引当金の増減額(△は減少)	△222,979	△265,993
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,843	5,190
受取利息及び受取配当金	△163,515	△137,452
売上債権の増減額(△は増加)	1,693,203	1,277,179
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	193,313	35,324
たな卸資産の増減額(△は増加)	△264,682	△441,310
営業貸付金の増減額(△は増加)	144,301	△1,304,478
仕入債務の増減額(△は減少)	△242,294	△257,143
リース債務の増減額(△は減少)	△218,860	△44,351
その他	729,557	619,184
小計	2,890,635	160,947
利息及び配当金の受取額	163,515	137,452
法人税等の支払額	△1,165,853	△1,304,508
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,888,297</b>	<b>△1,006,108</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△45,494	△131,328
投資有価証券の取得による支出	△358,489	△7,099
子会社株式の取得による支出	△388,000	—
その他	△48,524	4,150
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△840,507</b>	<b>△134,278</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△12,805	△108
配当金の支払額	△467,759	△549,056
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△480,565</b>	<b>△549,164</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,878	224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	555,345	△1,689,326
現金及び現金同等物の期首残高	19,315,885	25,444,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,871,230	23,755,337

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,264,318	1,322,892	367,988	5,955,199	—	5,955,199
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	152,742	26,472	3,267	182,482	△182,482	—
計	4,417,060	1,349,365	371,255	6,137,681	△182,482	5,955,199
セグメント 利益又は損失 (△)	924,685	81,025	△67,441	938,270	1,979	940,249

(注) 1. セグメント利益の調整額1,979千円には、セグメント間取引消去1,979千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	3,360,596	1,560,351	362,551	5,283,498	—	5,283,498
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	134,376	35,668	3,155	173,199	△173,199	—
計	3,494,972	1,596,019	365,706	5,456,698	△173,199	5,283,498
セグメント 利益又は損失 (△)	631,981	94,125	△348,347	377,760	1,837	379,597

(注) 1. セグメント利益の調整額1,837千円には、セグメント間取引消去1,837千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。